

機械設備工事特記様書

1 工事名称 北福岡公民館長寿命化改修工事

2 工事場所 三重郡川越町大字北福岡45-1

3 建築概要 R C造 2階建 延べ面積 310.05㎡

4 適用基準 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による
三重県公共工事共通仕様書（令和5年7月）
国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修
「公共建築工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」
「公共建築改修工事標準仕様書（建築、電気、機械設備工事編）令和4年版」
「公共建築設備工事標準図（電気、機械設備工事編）令和4年版」
「建築、電気、機械設備工事監理指針 令和4年版」
独立行政法人 建築研究所監修
「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」
なお、以下において選択する事項は、■印のついたものを適用する。

5 一般事項
工事の詳細については、本設計図面及び仕様書による他、上記各適用基準に準拠し、監督員指示の下に入念かつ誠実に施工すること。
設計図面に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び疑義、設計図面とおりに施工することで得られ不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。なお設計図面と通りの施工であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。
他工事との取り合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。
なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施工を行うこと。

(1) 提出図書

1) 工事書類：	・ 施工計画書	・ 打合記録	・ 工事材料搬入報告書
	・ 工程表	・ 試験結果・施工結果報告書（出来形・品質確認書類）	
	・ 機器明細図	・ 使用機材届出書	・ 段階確認書
2) 工事写真図：	・ 工事写真（データ）	等	
(各2部)	・ 完成図（竣工図）		
	・ 施工図		
	・ 機器完成図（ファイル等）		
	・ 保守に関する説明書（取扱説明書・保証書）		
	・ 機器性能試験成績書		
	・ 総合試運転調整報告書		
	・ 官公署届出書類、検査済証		
	・ 出来形確認書類 等		

※ 竣工図・施工図はCADにより作成すること。
※ 工事書類は営繕工事に係る電子納品マニュアル（デジタル工事写真集、工事完成図書編）に基づき電子納品（3部）すること。
※ 工事写真は営繕工事写真集撮影要領（国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修（令和5年版））に準じ撮影すること。
なお、デジタル工事写真の小黒板情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について（令和5年3月1日付国営建築第14号）」による。
※ 建築包含工事の場合、監督員に確認すること。
※ 完成図作図範囲は設計図面同程度とする。

(2) 機器及び材料等
工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書（メーカーリスト）、機器明細図、現品、カタログ、その他諸資料を事前に届出すること。
なお、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上メーカー品番を使用しているため、メーカー選定にあつては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律（グリーン購入法）を考慮し、再生品などの環境に優しい（環境物品）の調達に努める。また、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。

(3) 官公署等への届出手続
工事に伴う関係官公署への必要な諸手続きは、受注者が滞滞なく行い、これに要する費用も負担する。

1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・ 本工事・ 建築工事・電気設備工事・機械設備工事
・ 別途工事

2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成（機械設備図面の作成及び機械設備に関する部分の記入）を行うこと。

(4) 品質管理
工事施工に関して、着手前・施工中・施工後の自主検査を実施すること。
チェックリスト等を作成し、管理を行うこと。

(5) 出来形管理
以下の項目について、出来形管理の対象として管理を行うこと。

1) 各種機器据付
・ 耐震強度（設計標準強度、アンカーの種類・サイズ確認・埋め込み深さ）
・ 基礎寸法 水平、垂直等

2) 配管・ダクト工事
・ 支持間隔 振れ止め支持間隔

3) 屋外排水工事
・ 排水勾配 樹の深さ

4) 水栓、リモコンスイッチ等の取付高さ

(6) 製品確認
発注者、受注者において仕様を決定し、製作するような規格品ではない製品については、試験・検査等を行う機器が整備された施設内において、監督員等が製品の確認を行うものとする。
☐ 適用する ☐ 適用しない

(7) 耐震安全性の分類
構造体（Ⅱ）類 建築非構造部材（A）類 建築設備（乙）類

(8) 機器の地震力（主要機器）
機器名 バックージェアコン

設置層（地上）	設計標準震度Ks（1.0）	地域係数（1.0）
水槽類		
設置層（ ）	設計標準震度Ks（ ）	地域係数（1.0）

その他監督員が指示するもの

(9) 冷媒（フロン類）の回収 ■ 適用する ☐ 適用しない
冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編 2. 4. 3により、次の書類の写しを監督員に提出すること。
・ フロン回収行程管理票
・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）
撤去する前にフロンを屋外機ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行うこと。
バキューム形成時間の移設等により、冷媒の回収が必要となる場合においても、上記に準じて冷媒の大気中への飛散を防止する措置を講じること。

(10) 中間技術検査
実施回数（ ）回
実施する段階（ ）

(11) 足場等

- 別契約の関係受注者（下請け工事の場合は元請け）が定置したものは無償で使用できる。
- 本工事で設置する。
 - 足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものと、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別表1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の（2）手すり設置方式又は（3）手すり先行工法用足場方式により行うこと。
 - 公共建築労働工事標準仕様書（機械設備工事編）第1編 2. 1より足場の種別は以下による。
 - 内部足場 □ A 種 □ B 種 □ C 種 □ D 種 □ E 種 □ F 種 □ G 種
 - 外部足場 □ A 種 □ B 種 □ C 種 □ D 種 □ E 種 □ F 種
 - 防護シート設置範囲 □ 工事に必要な範囲 □ （ ）

高さ5m以上の箇所での作業を行う場合、労働安全衛生規則の各規定により使用する要求性能基準制用器具はフルハーネス型とし、「基準制用器具の規格」（平成31年1月25日厚生労働省告示第11号）によるものとする。

(12) 特定建設資材の再資源化等

- 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」とい。）施行令で定める建設工事に係る基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適正な措置を講ずることとする。
- 工事契約後に明らかにしたやむをえない事情により、予定した案件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

1) 分別解体等の方法

工 程	作業内容	分別解体等の方法
□ 新 築	建築設備工事	
□ 増 築	□ 有	□ 手作業
□ 修 繕	□ 無	□ 手作業、機械作業併用
□ 模様替え		

2) 再資源化を図る特定建設資材 □ コンクリート塊 □ アスファルトコンクリート塊 □ 建設発生木材（ ）

(13) 発生材の処理等

- 1) 引渡しを要するもの（ ）
 - 上記以外の引引きを要するものについては別途、監督員が指示する。
 - 特別管理産業廃棄物（冷温水管のフランジバック又は石綿含有（クリソタイル50～100%）処理方法（（別）3の作業手順によりフランジ前後10cm程度で配管を切断し、処理場へ持込処分する）なお施工に際して、炭石膏等特別管理産業廃棄物及び疑ひが清掃に関する場合は、監督員に報告し対応を協議するものとする。
- 2) 建設発生土 □ 構内敷きならし □ 処分地指定 処分地（ ）
 - 処分地未定に付き相互協議する。暫定運搬距離（ ）km。
- 3) 現場内において再利用を図るもの（ ）
 - 建設発生木材（ ）
- 4) 発生者へ引き渡すものについては「現場発生品目書」を提出すること。また再利用を図るものについても調査を伴い、監督員へ提出すること。
- 5) 引渡しを要しないものは、全て構外に搬出し、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、廃物の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進条例」に従い適切処理し、監督員に報告すること。

(14) 電気保安技術者

- 配置する □ 配置しない

(15) 施工条件

- 監督員及び依頼部局と協議調整し決定すること。
- 1) 施工可能日 ■ 一部に土、日曜日、祝祭日施工あり □ 指定なし
- 2) 施工可能時間帯 □ 指定なし ■ 指定あり（ ）（学校と協議のうえ決定）

(16) 概成工期

建築物等の使用を想定して総合試験運転を行ううえで、契約書に基づき関連工事及び設計図面に明示された他の発注者の発注に係る工事を含めた各工事が支障のない状態まで完了していること。

- 指定なし □ 指定あり（ ）（令和 年 月 日）

(17) 仮設工事 構内既存の施設

- 1) トイレ □ 利用できる ■ 利用できない
- 2) 工事用水 ■ 利用できない（有償） □ 利用できる（無償） □ 利用できない
- 3) 工事用電力 □ 利用できない（有償） □ 利用できる（無償） ■ 利用できない

※ 本工事で受電受変電された既設電気回路に接続し通電した時から工事に起因する電力料金は本工事に含まれる。

(18) 建築材料等

- 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図面に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿（最新版）及び別記認証の指定資材及び参考見積メーカー又はこれらと同等品以上とする。
- 品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先利用に努めること。
- 2) 本工事で使用する建設資材の調達にあつては、工事現場の取り扱い業者から購入するよう努めること。
- 3) 下販製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく（認定製品を使用すること。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと）。
- （認定製品の品名： ）
- 4) 下販製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく（認定製品を使用するように努めること）。
- （認定製品の品名： ・間伐材製工事用パレード ・間伐材工事看板 ・間伐材表示板）（ ）

(19) 建設副産物

諸員金10万円以上の工事について、再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、受注者は工事着手前に「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬入する場合）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を搬出する場合）を施工計画に添じ込んで監督員に写しを提出するとともに法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公表が見やすい場所に掲げなければならない。

また、工事完了後には「再生資源利用計画書（実施書）」（建設資材を搬入した場合）及び「再生資源利用促進計画書（実施書）」（建設副産物を搬出した場合）を作成し、監督員に提出すること。

なお、計画書（実施書）の提出とともにJACICが運営する「建設副産物情報交換システム」へのデータ入力も併せて行うこと。

(20) 三重県産業廃棄物税

本工事は産業廃棄物税相当分が計上されないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の年度中の4月1日から8月31日までの間に別記に定める様式に産業廃棄物税納付証明書を送付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこととする。

なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表（マニフェスト）の数量の集計を請求する請求とはできない。

(21) 事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員へ通報するとともに、所定の様式により事故発生報告書を監督員が指示する期日までに監督員へ提出すること。

なお、事故発生後の措置について、監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況確認、調査、検証等に協力すること。

(22) 養生と取扱い・養生

本工事施工に伴う、既存設備の軽微な加工・改造は、本工事とする。

また、工事施工に際し、既存部分を汚損・破壊しないよう養生を行うこと。なお汚損・破壊等した場合は、機能・仕上り共、既設に準じ回復すること。

(23) 総合評価方式

総合評価方式の工事において技術提案、体制確認資料の記載内容等に不履行があった場合、本件工事完成年度の年度中に三重県が発注する総合評価方式案件（以下「発注工事」とい。）において、貴社の加算点から発注工事の加算点満点の0割を減点します。また、同一年度に複数工事で不履行があった場合は、不履行工事件数に応じて減点します。

なお、貴社が特選Ⅱ、経常Ⅲの構成員である場合についても、発注工事の加算点満点の0割を減点します。

(24) 下請契約数制及び県内（管内）企業優先使用

本工事における下請の次数は、2次（建築一式工事は3次）までとする。

なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。

本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（2次以下の子供企業を含む）を三重県内（本店（建設法）において規定する主たる営業所を含む）を有する者の中から選定するように努めること。また、工事現場を所管する建設事務所内又は直接する建設事務所管内に本店（建設法）において規定する主たる営業所を含む）を有する者を選定して選定するよう努めること。

なお、県外企業を下請契約の相手方に選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。

(25) 不当介入を受けた場合の措置
 暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第14号）を受けた場合の措置について
 1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行うこと。
 2) 1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること、発注者への報告は必ず文書で行うこと。
 3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

(26) 主任技術者又は監理技術者
 1) 技術者要件
 工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たすものとしなければならない。
 2) 専任を要しない期間
 ・現場施工に着手するまでの期間
 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所を設置、資機材の搬入、又は仮設工事等が開始されるまでの期間）については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。
 ・検査終了後の期間
 なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。
 工事終了後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。
 なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、受注者に通知した日とする。

(27) 火災保険等
 三重県建設工事請負契約書第52条第1項の規定により、火災保険、組立保険又はその他の保険等に加し、その加入証券等を提示しなければならない。
 ①保険の目的物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）
 ②保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間
 ③保険金額 原則として請負金額に相当する金額

(28) 工事目的物の部分引渡し等について
 □ 部分引渡しあり □ 部分使用あり
 ・指定部分（ ）・時期（ 令和 年 月 日 ）

(29) 埋蔵文化財調査
 埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。
 □ 試掘調査の実施あり（発見された場合、発掘調査等の実施あり）
 ■ 発掘調査等の実施あり

(30) 不正給油の使用の禁止
 1) 一般事項
 工事現場で使用する、又は使用される車両（資機材等の搬入車両を含む。）並びに建設機械等の燃料として、不正給油（地方税法第144条の32（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。
 2) 調査の協力
 受注者は、果が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。
 また、受注者は下請負者等に同調査を協力するよう管理及び監督しなければならない。
 3) 是正措置
 受注者は、不正給油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。
 また、受注者は下請負者等不正給油の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

(31) 社会保険等未加入対策
 ・適用外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。
 ・受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書・作業員名簿により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

(32) 現場での安全確保
 ・受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。
 ・設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

(33) 電子メールの活用
 「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和3年11月」を適用する。
 （三重県HP「三重県の公共情報」を参照）

(34) 設計図書の照査
 三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項1号から5号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。
 なお、監督員の請求があった場合は、照査の実施が確認できる資料を提示すること。

(35) 工事の一時中止
 工事の一時中止の取り扱いについては「三重県工事一時中止に係るガイドライン（平成29年7月三重県県土整備部）」による。
 三重県建設工事請負契約書（以下「契約書」という。）第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事現場の管理に関する計画（以下「基本計画書」という。）を発注者に提出し、協議する。
 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

(36) その他
 1) 使用機械
 低騒音型、低振動型の建設機械の使用に努めること。
 2) 測定機器の校正記録
 工事で使用する測定機器に対しては適正に校正した器具を使用しなければならない。
 測定に先立ち使用する測定機器の検査済証（写し）又は校正記録（写し）を監督員に提示すること。

(8) 撤去工事
改修工事に伴い、既設機器、配管、配線、ダクトの撤去を行う。

(9) 発生材処理
工事の進行に伴って発生する廃棄物を処分する。

8 総合調整

(1) 風量調整

■ 適用する □ 適用しない

(2) 水量調整

■ 適用する □ 適用しない

(3) 室内外空気の温度測定

■ 適用する □ 適用しない

(4) 室内外空気の湿度測定

□ 適用する ■ 適用しない

(5) 室内気流及びじんあいの測定

□ 適用する ■ 適用しない

(6) 騒音の測定

■ 適用する □ 適用しない

(7) 飲料水の水質の測定(水道法施行規則第10条による水質検査)

■ 適用する □ 適用しない

のうち 一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物(全有機炭素(TOC)の量)、pH値、味、臭気、色度、濁度 について測定を行なうこと。
※遊離残留塩素 については、上記適用の有無にかかわらず、測定を行なうこと。

(8) その他()

□ 適用する ■ 適用しない

9 工事細目

(1) 配管材料

■ 給水管	<p>□ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K116 (一般: SGP-VA、VB 地中: SGP-VD)</p> <p>□ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011 (一般: SGP-FVA、FVB 地中: SGP-FVD)</p> <p>※ 継ぎ手はコア内蔵型とする。 給水管100Aはねじ又はフランジ接合、125A以上はフランジ接合(工場加工)とする。</p> <p>■ 水道用ステンレス鋼管 JWNA G 115 (最高使用圧力1.0MPa以下)</p> <p>■ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS K 3448 (最高使用圧力2.0MPa以下)</p> <p>□ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6742(一般・地中: H1VP)</p> <p>□ 水道配水用ポリエチレン管 JWNA K 144 (50~150A) (地中: PE)</p> <p>□ 給水設備用ポリエチレン管 JP K 001 (20~40A) (地中: PE)</p> <p>□ 給水用高密度ポリエチレン管 FWA 005 (20~75A) (建物内・PE)</p> <p>□ 水道配水用ポリエチレン管 FWA 001 (50~200A) (地中: PE)</p> <p>□ 水道用ポリエチレン二層管 JIS K 6762 (地中: PE)</p> <p>※ 地中埋設管は、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。</p>
■ 雑排水管	<p>□ 配管用炭素鋼管(白) JIS K 3452 (SGP-白)</p> <p>※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き)</p> <p>■ 土間: 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU)</p> <p>□ 土間: リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP)</p> <p>※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。</p> <p>■ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p>
■ 通気管	<p>□ 配管用炭素鋼管(白) JIS K 3452 (SGP-白)</p> <p>※ 継ぎ手はドレネジ継ぎ手又は、MD継ぎ手を使用 (地中・コンクリート埋設は防食テープ2重巻き)</p> <p>■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP)</p> <p>□ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP)</p> <p>※ RF-VPは屋外露出不可</p> <p>■ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p>
■ 汚水管	<p>□ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 042</p> <p>※ 同上MD継ぎ手 JFF MDJ 002</p> <p>■ 土間: 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU)</p> <p>□ 土間: リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP)</p> <p>※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。</p> <p>■ 排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に繊維モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。</p>
■ 給湯管	<p>□ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWNA K 140(SGP-HVA)</p> <p>■ 水道用ステンレス鋼管 JWNA G 115</p> <p>■ 一般配管用ステンレス鋼管 JIS K 3448</p>
■ ガス管	<p>■ 配管用炭素鋼管(白) JIS K 3452 (SGP-白)</p> <p>■ 土間: 塩化ビニル被覆鋼管(黒)</p> <p>■ ガス用ポリエチレン管 JIS K 6774 (地中: PE)</p> <p>※ 地中埋設鋼管は、取出し位置のGL面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。</p>

特 記 事 項		 一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号 株式会社 前野建築設計 管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早紀	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当	法適合確認	作図  検図	工事名称 北福崎公民館長寿命化改修工事	設計日 R6/3/25
										図面名称 機械設備工事 特記仕様書（1） 縮 尺 A1:N.S A3:N.S	図面番号 M-01

■ 屋外埋設排水	■ 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP・VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管 JIS K 9798 (RF-VP) □ 排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管 AS-58 (REP-VU) □ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル二層管 JIS K 9797 (RS-VU) ※ 125A以下はVP、150A以上はVUとする。 □ コンクリート管 JIS A 5372 (プレキャスト鉄筋コンクリート製品) (1種水路用遠心力鉄筋コンクリート管)
□ 消火管	□ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管(白) WSP041 (SGP-VS) ※ 地中埋設管VSは、取出し位置の地面又はSL、FL面より+100立ち上げた所までとする。
□ 冷水水管	□ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K 140 (一般：SGP-HVA)
□ 冷却水管	□ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) □ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 JWMA K116(一般：SGP-VA、VB) □ フランジ付硬質塩化ビニルライニング鋼管 WSP 011(一般：SGP-FVA、FVB)
■ ドレン管	□ 配管用炭素鋼鋼管(白) JIS G 3452 (SGP-白) ■ (屋外) カラー硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP) ■ (屋内) 空調ドレン用結露防止層付硬質塩化ビニル管 (埋設) 硬質ポリ塩化ビニル管 JIS K 6741 (VP) □ (排水・通気用耐火二層管 JIS K 6741(硬質塩化ビニル管VP)又はJIS K 9798(リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管RF-VP)規格品に機械モルタルで被覆したもので国土交通大臣認定のもの。
■ 冷媒管	□ 銅及び銅合金継目無管 硬質、軟質または半硬質 JIS H3300 ■ 断熱材被覆銅管 原管はJIS H3300による。製造者標準品 ただし、保温厚は ガス管 20mm、液管 10mmとする。 ※ 冷媒用銅管の肉厚は、冷凍保安規則関係示基準の規定による。
□ 油管	□ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 溶接接合
□ 蒸気管	□ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452 <(往) 溶接 (還) 65A以上：溶接、50A以下：ねじ>
□ ブライン管	□ 配管用炭素鋼鋼管(黒) JIS G 3452

※ 弁類 排水ポンプまわり、消火ポンプまわり、水道直圧部は10Kとし、それ以外は5Kとする。
塩ビライニング鋼管に使用する際は、管端防食カバー付き、又はライニング弁を使用すること。

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下 125A以上	— —	2m以下 3m以下
ビニル管	80A以下	—	1m以下
耐火二層管	100A以上	—	2m以下
鋼管			

※ 横走り管形鋼板止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管	-	50A～100 A	125A～
ビニル管			
耐火二層管	25A～40A	50A～100A	125A～
鋼管			

※ 冷媒用銅管の横走り管の支持間隔
基準外径 9.52mm 以下 吊り間隔 1.5m以下 ※ 液管・ガス管共吊りの場合は
基準外径 12.70mm 以上 吊り間隔 2.0m以下 液管の外径を基準とする。
形鋼板止め支持間隔は、鋼管に準ずる。

(2) ダクト工事

矩形ダクト ■ 亜鉛鉄板 JIS G 3302 (SG60、SG6CA) 鍍金付着Z18以上
□ ステンレス鋼板 JIS G4305
工法 ■ 共板フランジ工法
□ スライドオンフランジ工法

形鋼補強

丸ダクト □ 山形鋼 JIS G 3101 □ SUS鋼材 JIS G 4317
■ スパイラルダクト
□ 硬質ポリ塩化ビニル管 (多湿箇所) JIS K 6741

(3) 保温塗装工事

1) 材料

■ グラスウール保温材 (屋内一般等)		保温板、保温箔、保温帯 JIS A 9504 40K	
■ 給水管	□ 排水管	■ 給湯管	□ 消火管(露出部)
□ 蒸気管(往)	□ 蒸気管(還)	□ 冷水、冷温水管	□ 冷媒管
(屋外等)			
□ 給湯管(70℃以上)	□ 温水管	□ 蒸気管	□ 冷水、冷温水管
□ 冷媒管		□	□

■ ロックウール保温材 (防火区画貫通部等)		保温板 JIS A 9504 1号又は2号 保温帯、ブラケット JIS A 9504 1号	
■ 給水管	□ 排水管	□ 給湯管	□ 温水管
□ 蒸気管	□ 冷水・冷温水管	□ 冷媒管	□ 消火管

■ ポリスチレンフォーム保温材 (屋内一般等)		保温板、保温箔 JIS A 9511 3号	
<input type="checkbox"/> 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管	<input type="checkbox"/> 冷水管 (2~4℃)
<input type="checkbox"/> フライン管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(屋外等)			
■ 給水管	<input type="checkbox"/> 排水管	■ 給湯管 (70℃以下)	<input type="checkbox"/> 冷水・冷温水管
<input type="checkbox"/> フライン管	<input type="checkbox"/> 消火管	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

□ 合成樹脂調合ペイント塗り塗料 JIS K 5516 (合成樹脂調合ペイント) 1種 (露出)			
□ 給水管	□ 排水管	□ 通気管	□ ドレン管
□ ガス管	□ 消火管	□ 油管	□ 冷却水管
□ ダクト (亜鉛鉄板製)	□ ダクト (鋼板製)	□ 電管	

<input type="checkbox"/> さび止めペイント塗り塗料 JIS K 5621 (一般用錆止めペイント) 2種			
<input type="checkbox"/> 蒸気管 (往)	<input type="checkbox"/> ダクト (鋼板製)		

<input type="checkbox"/> アルミニウムペイント塗り塗料		JIS K 5492 (アルミニウムペイント)	
		下塗りは錆止めペイント	
<input type="checkbox"/> 蒸気管 (選)			

2) 保温厚

グラスウール、ロックウール					
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ドレン・給湯・膨張・温水・消火管	～80A	100～150A	-	200A～	-
蒸気管	～25A	-	32～50A	65A～	-
冷水・冷温水・冷媒管	-	-	～25A	32～200A	250A～

・ ポリスチレンフォーム						
保温厚 (mm)	20	25	30	40	50	65
給水・消火・排水管	～80A	100A～	-	-	-	-
冷水・冷温水管	-	-	～25A	32～200A	250A～	-
冷水管 (冷水温度2～4℃)	-	-	～20A	25A～100A	125A～	-
ブライン管	-	-	-	～25A	32～80A	100A～

・ 機器ダクト保温厚

保温厚	
25mm	ダクト(屋内露出〔機械室、書庫、倉庫〕、隠蔽部)、消音チャンパー・エルボ 膨張タンク、鋼板製タンク、排煙ダクト隠蔽部(ロックウール)
50mm	ダクト(屋内露出〔一般居室、廊下〕)、サブライチャンパー、貯湯タンク類 冷水・冷温水・温水・環水タンク、熱交換器、冷水・冷温水・温水・蒸気ヘッダー、排気筒隠蔽部(ロックウール)
75mm	煙道(ロックウール)

3) 種別

給排水衛生設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4
屋内露出	保温箔	鉄線	合成樹脂製カバー	
機械室・書庫・倉庫	保温箔	鉄線	原紙	78±3 5270±2 仕上
天井内・P・S内	アルミガラスクロス化粧保温材			アルミガラスクロス仕上
暗渠内(ビット内)	保温箔	鉄線	ポリエチレンフィルム	着色78±3 5270±2 仕上
屋外露出	保温箔	鉄線	ポリエチレンフィルム	SUS鋼板仕上
※ 1) 排水管については、上表暗渠内(ビット内)の仕様を防食テープ巻きに読み替える。 ※ 2) サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管使用の場合は、上表保温不要。 ※ 3) 消火管の保温は消防打ち合わせにより決定すること。				

空調設備配管の保温仕様(R、G保温材の仕様のみ)

	1	2	3	4	5
屋内露出	保温箔	鉄線	合成樹脂製カバー		
機械室・書庫・倉庫	保温箔	鉄線	原紙		アルミガラスクロス仕上
天井内・P・S内	保温箔	鉄線	アルミガラスクロス仕上		
(温水・蒸気管以外)					
暗渠内(ビット内)	保温箔	鉄線	着色アルミガラスクロス仕上		
屋外露出	保温箔	鉄線	SUS鋼板仕上		
※ 1) 冷媒管に断熱材被覆銅管を使用した場合の保温種別 ■ 保温化粧ケース仕上 ■ SUS鋼板仕上(屋外露出部分)					

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水タンク					
鋼板製タンク	鉄	保温板	ポリエチレンフィルム	鉄線	SUS鋼板仕上
冷水・冷温水ヘッダ					カラー亜鉛鉄板(屋内)
温水・膨張・還水					
貯湯タンク	鉄	保温板	鉄線		SUS鋼板仕上
温水・蒸気ヘッダ					カラー亜鉛鉄板(屋内)
熱交換器					
※ 1) 密閉式膨張タンク及び、プレート形熱交換器は、保温施工不要					

ダクト・チャンパー・煙道 保温仕様

		1	2	3	4	5
長方形ダクト	屋内露出	一般・廊下	紙	保温板	カラー亜鉛鉄板	
	機械室				アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、D・S内				アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所				ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
スパイラルダクト	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	カラー亜鉛鉄板	
	機械室				アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋内隠蔽、多湿箇所				アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ
	屋外露出、多湿箇所				保温帯	鉄線 SUS鋼板
	サブライチャンパー				ポリエチレンフィルム	鉄線 SUS鋼板
	消音チャンパー、エルボ				ガラスクロス	鋼板金網又はアルミハンダングネット
	排煙ダクト長方形	屋内隠蔽	紙	アルミガラスクロス化粧保温板	アルミガラスクロス粘着テープ	
	排煙ダクト円形	屋内隠蔽		アルミガラスクロス化粧保温帯	アルミガラスクロス粘着テープ	
	煙道				ブランケット鉄線	カラー亜鉛鉄板

※ 1) 排煙ダクトは、ロックウール保温板、保温帯、1号を使用。
※ 2) 煙道ブランケットは、JIS G 3554 (亀甲金網) による亜鉛鍍金を施した網目鋼片16線径0.55の金網又はRWAS02による防錆処理を施した平ラ0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 鋼亀甲金網は、JIS H 3260 網目呼称10、線径0.5を使用。

配管用炭素鋼鋼管の塗装仕様

機材	状態	塗料の種類	塗り回数			備考
			下塗り	中塗り	上塗り	
白管	露出	合成樹脂調合ペイント	1	1	1	下塗りはさび止めペイント
黒管	露出	合成樹脂調合ペイント	2	1	1	下塗りはさび止めペイント

※ 1) ねじ切りした部分の鉄面は、さび止めペイント2回塗りを行う。

4) 施工

ダクト保温施工範囲

1. SA □保温あり □保温なし □図面による □その他 ()
2. EA □保温あり □保温なし □図面による ■その他 (厨房排気フードは保温あり RW t 2.5)
3. RA □保温あり ■保温なし □図面による □その他 ()
4. OA ■保温あり □保温なし □図面による □その他 ()

チャンパー内貼施工

- 内貼あり (mm) □内貼なし □図面による □その他 ()

(4) スリーブ工事

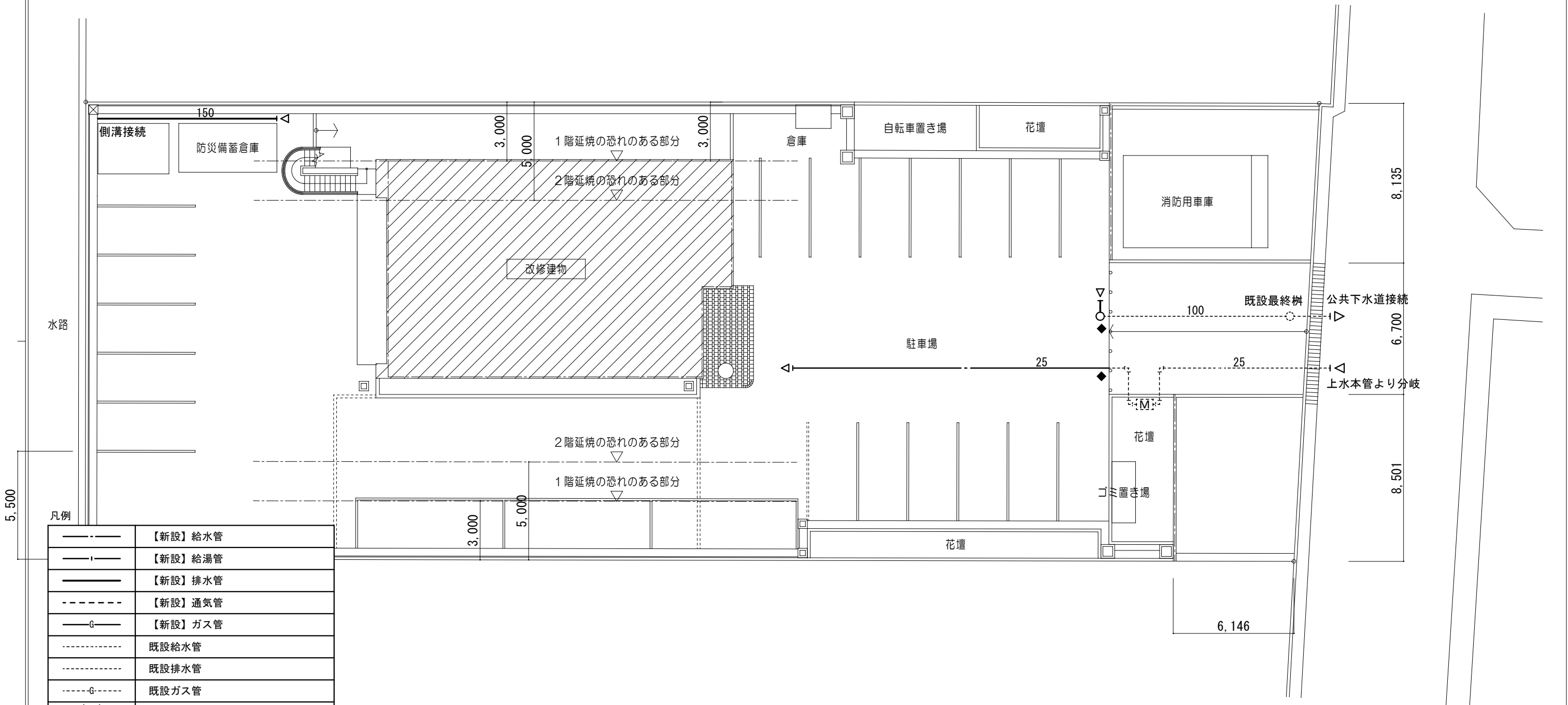
1. 管スリーブの径は、原則として、管の外径 (保温されるものは、保温厚さを含む) より40mm程度大 (≒2サイズUP) なるものとする。
箱抜きスリーブは、木枠又は鋼板(炭管ダクト)とする。
2. 地中部分のスリーブは、塩化ビニル管(VU)とし、水密を要する部分のスリーブは、つば付き鋼管とする。
3. 地中梁以外の梁抜き管スリーブは、亜鉛鉄板製を原則とする。
4. 柱及び梁以外の面所で、開口補強が必要であり、かつ、スリーブ径が200mm以下の部分は、紙製仮枠としてもよい。
紙製仮枠を用いる場合は、変形防止の措置を講じ、かつ、配管施工前に仮枠を必ず取除くものとする。

10 共通事項

- 1) 陸上ポンプ、送排風機(エアハン含む)の電動機は、すべて全閉防ま形とする。
- 2) 配管途中、要所にはフランジ接続箇所を設置し、取り外しを容易にすること。
- 3) 系統が分かるように、必要箇所(機械室、P・S内等)に文字書き・矢印記入・バルブ札取付を行うこと。書きもしくはカッティングシートとする。
- 4) 機器・配管・支持金物には、絶縁処理を行うこと。
- 5) 配管・空気が滞留する恐れのある箇所には、エア抜き弁を設置し、最寄りのドレン管に接続すること。
- 6) 屋外機器設置基礎のアンカーボルトは、構造体鉄筋より取り出す、もしくはあと施工アンカー工法の類とする。使用アンカーについては、機器仕様書、耐震クラス等を確認すること。また、重量機器にあと施工アンカー工法を採用する場合、ケミカルアンカーを使用し施工すること。
- 7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ダクトの防振・消音については、標準仕様書、標準図、工事監理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮すること。
- 8) 雨がかり部に取り付けるガラのチャンパーには、水抜きを設けること。
- 9) 屋外埋設管(給水、消火、ガス)には、埋設シートを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設機を施工すること。
- 10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用すること。
- 11) 水栓は、節水機構付きのものを使用すること。
- 12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行うこと。
- 13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずること。
 - ・ 管は継ぎ手の組み合わせにより可とう性をもたせる。
 - ・ 接続箇所は必要に応じコンクリートで保護する。
 - ・ 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設管を保持すること。
 - ・ 呼び径100A以下はM10、125A～250AはM12、250A以上はM16のステンレス棒鋼を使用する。
- 14) 屋外露出及び多湿箇所(トレンチビット等)の配管架台は、SUS又はSS溶融亜鉛メッキ仕上げとすること。
- 15) 屋外設置のマノホール類には用途名を入れること。
- 16) 合成樹脂製カバーの仕上げについては、保温要切り箇所には菊巻の取り付けを行うこと。
- 17) 送風機用ベルトガードには裏カバー及び点検口を設けること。

11 指定資材及び参考見積りメーカー

分類 管	資材名	規格・メーカー等 (アイウエオ順)
	塩ビライニング鋼管	「水」マーク表示品 WSP規格品
	配管用炭素鋼鋼管	JISマーク表示品
	塩化ビニル管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	リサイクル塩化ビニル管	JISマーク表示品 塩化ビニル管・継手協会規格品
	銅管	冷媒用 鋼イノアック住環境 鋼コベルコマテリアル銅管 鋼IAGI銅管 因幡電機産業(株) または同等品以上
	ステンレス鋼管	JISマーク表示品 「水」マーク表示品
	耐火二層管	国土交通大臣認定品
	ポリエチレン管	JISマーク表示品 日本ポリエチレンパイプシステム協会規格品 「水」マーク表示品 建築設備用ポリエチレンパイプシステム研究協会規格品
	継手	ライニング鋼管継手
管端防食 フランジ		WSP規格品
鋼管継手		外面含む JISマーク表示品 JPF規格品 WSP規格品
ビニル管継手		JISマーク表示品 「水」マーク表示品
鋼管継手		冷媒用 鋼イノアック住環境 東洋フイツテング 鋼 因幡電機産業 鋼 または同等品以上
ステンレス鋼管継手		JISマーク表示品 SAS規格品 「水」マーク表示品
耐火二層管継手		国土交通大臣認定品
伸縮管継手(ベローズ形、スリーブ形)		JISマーク表示品(ベローズ型) SHASE-S表示品(スリーブ型)
可とう継手		トーフル 鋼 日立金属 鋼ペン 鋼ヨシタケ または同等品以上
弁		青銅弁・鉄弁
	その他弁類	鋼キッツ 東洋バルブ 鋼 日立金属 鋼ペン 鋼ヨシタケ または同等品以上
保温材	グラスウール保温材 ロックウール保温材 ポリスチレンフォーム保温材	JISマーク表示品
	ポンプ 類	模形通心ポンプ (空潤滑、ボイラー給水用、排水用) 水中モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用) 立式通心ポンプ(ボイラー給水用、排水用)
電動機	電動機	シンフォニアテクノロジ 鋼 鋼東芝 日立製作所 富士電機 鋼 パナソニック 鋼 三菱電機 鋼 明電舎 または同等品以上
	衛生 器具	衛生陶器・水栓 衛生器具ユニット
タンク	FRP製バルネルタンク	設備機材等評価名簿による。
	密閉形隔膜式膨張槽 (空潤滑・給湯用) ステン鋼板製 鋼 鋼 (溶接組立形) ステン鋼板製 鋼 鋼 (ボルト組立形)	例 鋼



凡例

	【新設】給水管
	【新設】給湯管
	【新設】排水管
	【新設】通気管
	【新設】ガス管
	既設給水管
	既設排水管
	既設ガス管
	【新設】単水栓
	【新設】混合水栓
	【新設】床上掃除口
	【新設】床排水金物
	【新設】汚水樹（塩ビ樹）
	【新設】雨水樹（塩ビ樹）
	既設接続

配置図

1/200

樹凡例

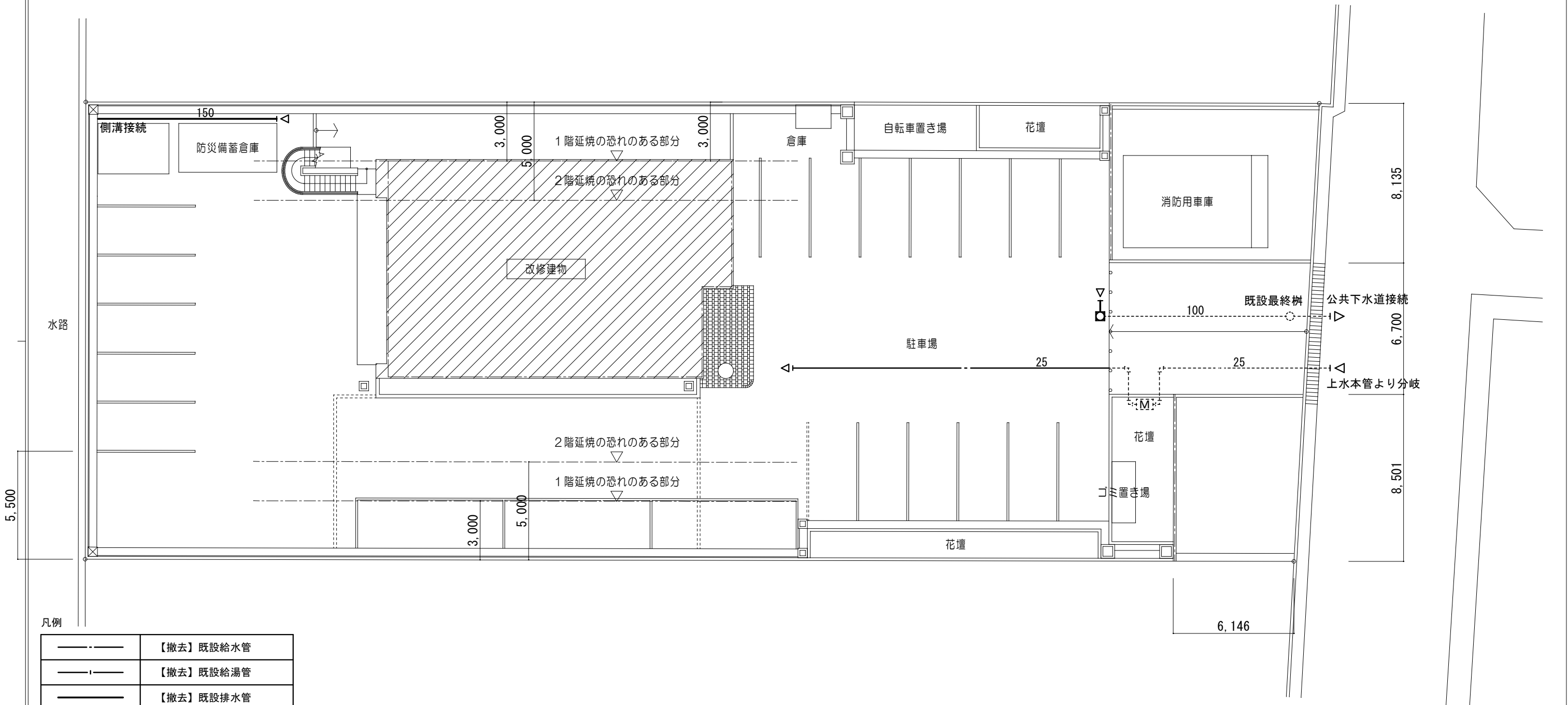
樹種別を示す

RC-3
950

管底レベルを示す
(G.L.基準)

塩ビ製小口径樹は記載無き限り150φとする
新設する樹の蓋は記載無き限り蓋は塩ビ蓋とする
排水樹：インバート樹、雨水樹：ため樹とする

特 記 事 項		<div><div><div><div></div></div><div>株式会社</div></div><div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div>	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者 一級建築士 第320204号 前野 将輝	設計担当 一級建築士 第378328号 加藤 早妃	設計担当 一級建築士 第360917号 前田 祐作	設計担当 一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当	法適合確認	<div><div></div><div>作図</div></div>	工事名称 北福崎公民館長寿命化改修工事	設計日 R6/3/25	
	<div><div></div><div>校図</div></div>										図面名称 改修後 配置図	縮 尺 A1:1/100 A3:1/200	図面番号 M-03



凡例

	【撤去】既設給水管
	【撤去】既設給湯管
	【撤去】既設排水管
	【撤去】既設ガス管
	既設給水管
	既設給湯管
	既設排水管
	既設ガス管
	【撤去】既設排水樹

配置図 1/200

樹凡例

樹種別を示す

RC-3
950

管底レベルを示す
(G.L.基準)

蓋：MHB蓋又は塩ビ蓋

特 記 事 項				<div><div><div><div></div></div><div>株式会社</div></div><div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div></div>	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	法適合確認	作図	工事名称	設計日			
					株 式 会 社	第320204号	前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	設計担当			<div><div><div></div></div></div>	北福崎公民館長寿命化改修工事	R6/3/25		
															検図	図面名称	縮 尺	図面番号
															<div><div>改修前</div><div>配置図</div></div>	A1:1/100 A3:1/200	M-04	

【新設】衛生機器仕様表

記 号	機 器 名	機 器 仕 様	電気容量		台数	設 置 場 所	備 考
GT50	グリーストラップ	型式：SUS製地中埋設型ﾊﾞｲﾌﾟ流入	-	-	1	屋外	
		容量：50L（許容流入流量）					
		付属品：縞鋼板蓋(T-2)、嵩上枠					
GH5	ガス瞬間湯沸器	型式：屋内壁掛形 5号 元止式			2	1階 湯沸室	
		能力：L P G 1 0 . 5 k W				2階 湯沸調子教室	
		付属品：					

※ 給湯器は「平成12年建告1338号に適合する。」

【撤去】既設衛生機器表

記号	機 器 名	仕 様	台数	備 考
GT-1	グリーストラップ	SUS製 容量 50L（600×300×700H）	1	屋外
		縞鋼蓋共		
W-1	ガス瞬間湯沸器	壁掛形 5号 元止式	1	1階 調理室

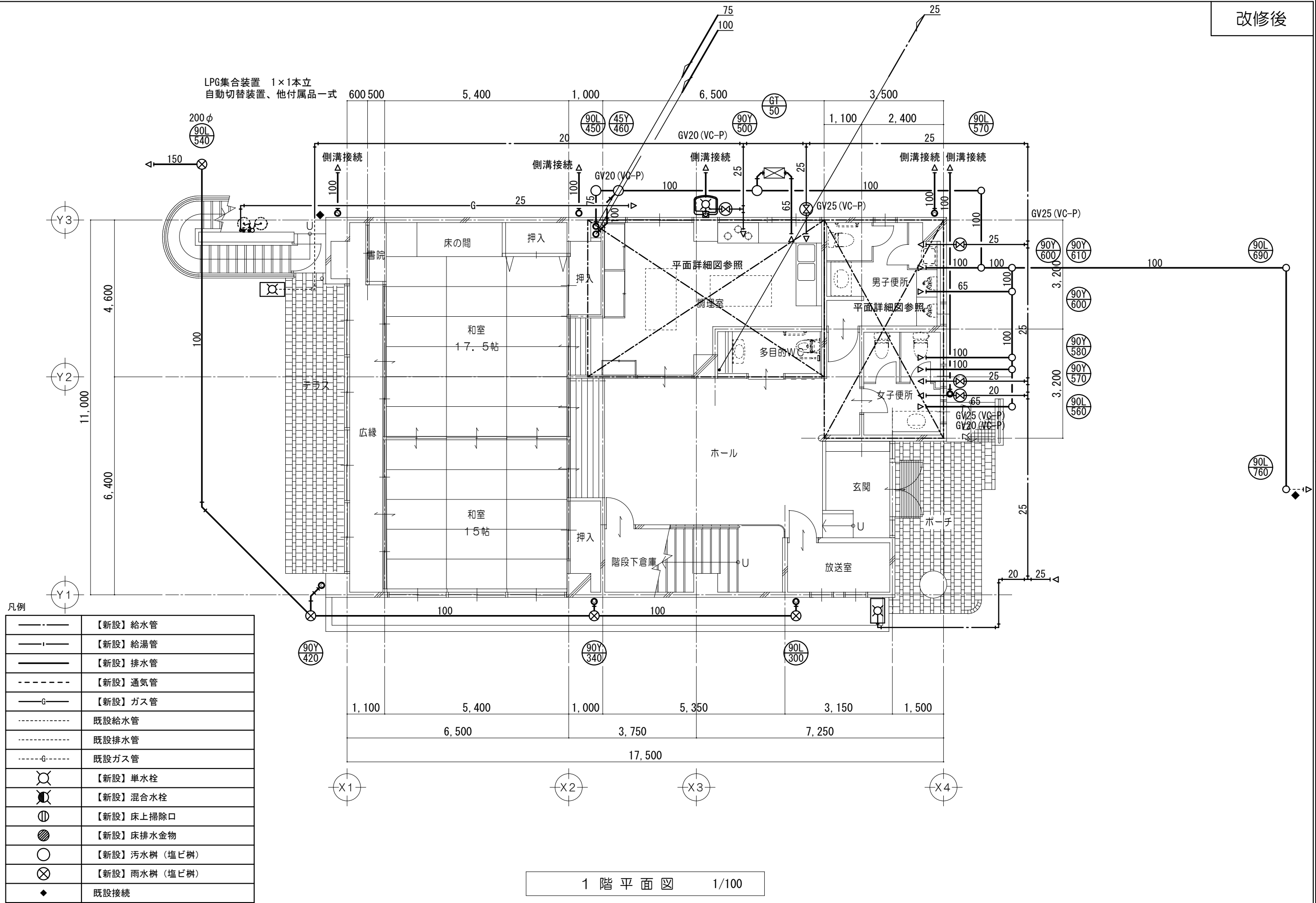
【撤去】既設衛生器具表

名 称	1階 男子 トイレ	1階 女子 トイレ	1階 調理 室	2階 トイ レ	2階 湯沸 室	屋 外	合 計
和風便器（タンク式）	1	2		2			5
洋風便器（タンク式）	1	2					3
小便器	3			2			5
洗面器	1	1		1			3
掃除流し	1	1					2
紙巻器	1	2		2			5
単水栓			2	1	1		4
散水栓（BOX共）						2	2
水栓柱						1	1
ガーデンパン						1	1
化粧鏡	1	1		1			3
L形手すり	1	2					3
タオルかけ	1	2					3
ガスコック			2		1		3

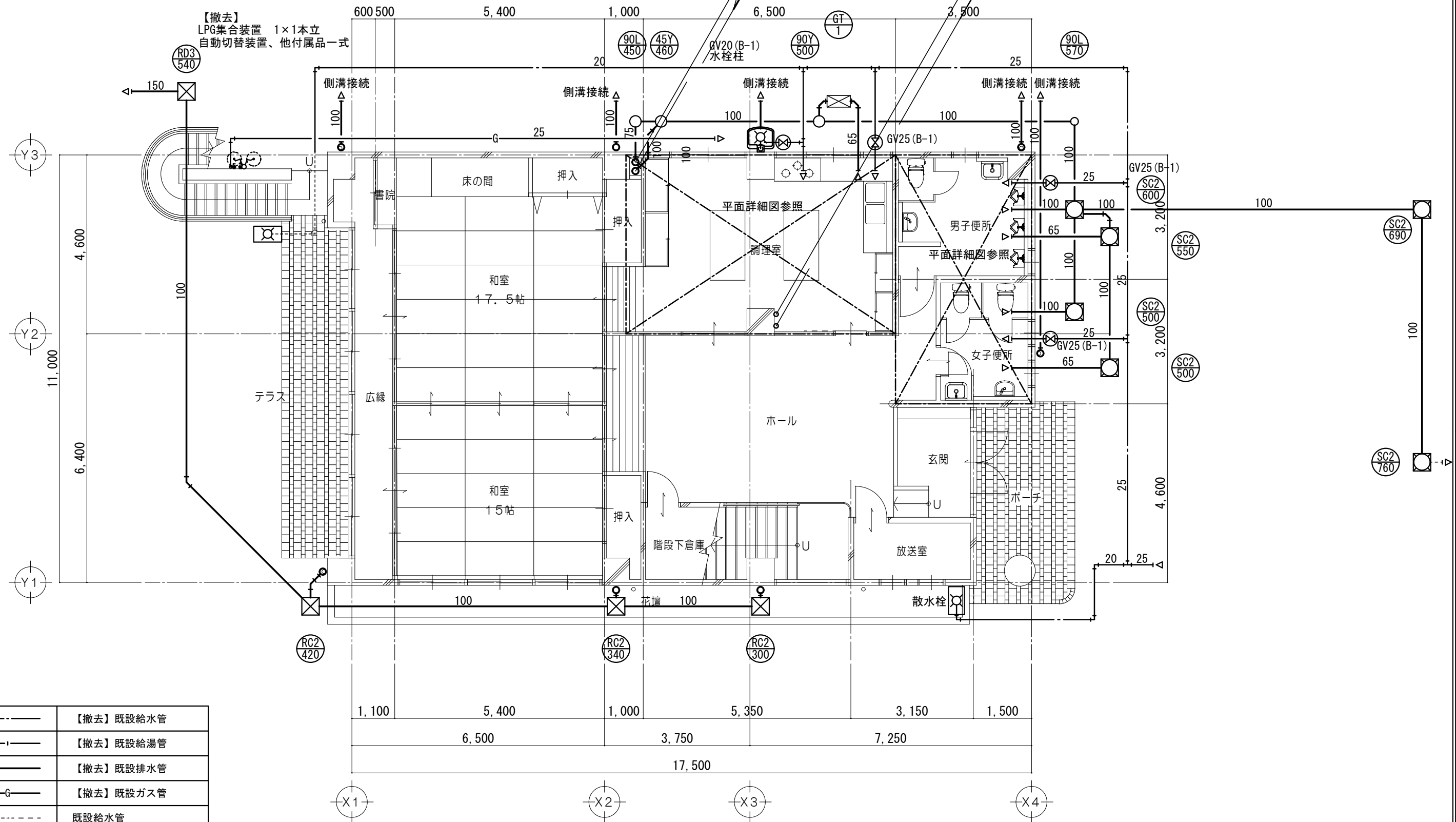
衛 生 器 具 表

名 称	参 考 型 名 (T O T O)	参 考 型 名 (L I X I L)	備 考	1 階				2 階		屋 外	合 計
				調 理 室	多 目 的 W C	女 子 便 所	男 子 便 所	湯 沸 室	便 所		
洋風大便器	CFS498B、TCF5514AU、YH702	BC-P110S、DQ-PA150CH、CW-PA21QE-NE、CF-020-SET、CF-63HST				2	1		2		5
洋風大便器	CFS498B、TCF5514AUP、YH702	BC-P110S、DQ-PA150CH、CW-PA21QE-NEC、303-1009、CF-020-SET、CF-63HST			1						1
小便器	UFH500、TG600PN、T9R	U-406RU、UF-3JT、UF-506BWP、SE-10E					2		2		4
洗面器	L270C、TLE28SS1A、TLDP2105JA、TL220D	L-275AN、AM-300CV1、LF-105PA、SF-10E、KF-30DN、A-6224			1						1
カウンター	【建築工事】	【建築工事】				(1)	(1)		(1)		(3)
洗面器	L532、TLE28SS1A、TLDP2105J、M9P50A	L-2295、AM-300CV1、LF-105PAL、LF-625K、A-6224				1	1		1		3
マルチシンク	SK500、T23BNR13C、TL220D	S-17、LF-7K-13-U、SF-25PA、SF-10E、KF-30DN					1				1
跳ね上げ手すり	T112HK7R、固定金具	KF-471EH70JU、固定金具			1						1
L型手すり	T112CL10、固定金具	KF-920AE70D12J、固定金具			1						1
L型手すり	T112CL9、固定金具	KF-920AE70D12J、固定金具				1			1		2
化粧鏡	YM3580AC	KF-D3083AS			1	1	1		1		4
立水栓	T136SUNR13C	LF-14F-13-U		2				1			3
水栓柱	水栓柱：樹脂製900H、T200SNR13C	水栓柱：樹脂製900H、LF-7R-13-U								1	1
散水栓	T28UMH13、鑄鉄製BOX	LF-33-13-CV、鑄鉄製BOX								1	1
ガーデンパン	樹脂製	樹脂製								1	1

改修後

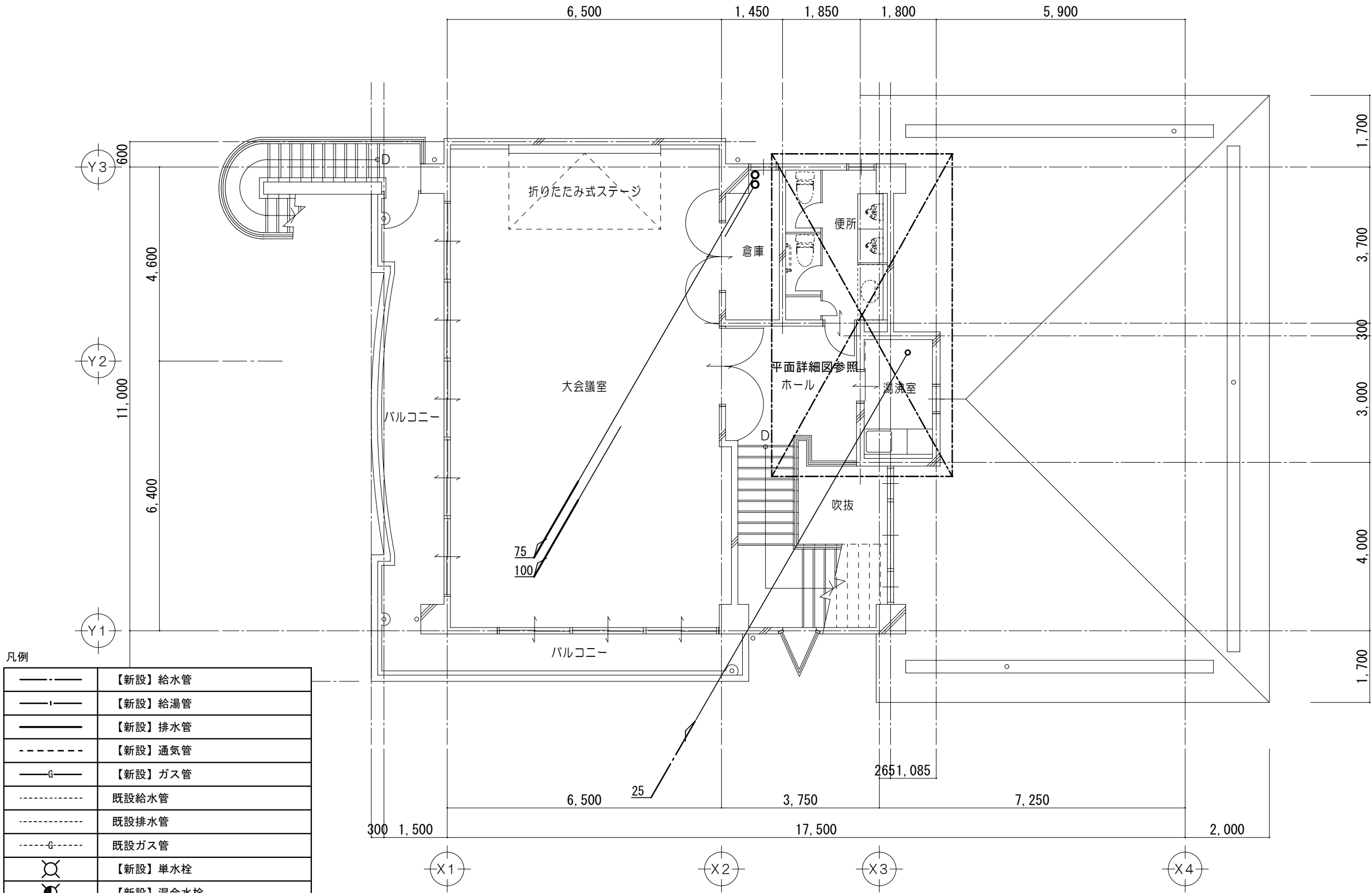


特 記 事 項		<div><div><div><div></div></div><div>株 式 会 社</div></div><div>前野建築設計</div><div>管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝</div></div>	一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号	代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	<div>法適合確認</div> <div></div> <div>作図</div> <div></div>	工事名称	設計日
			一級建築士 第320204号	一級建築士 第378328号	一級建築士 第360917号	一級建築士 第307846号	北福崎公民館長寿命化改修工事	R6/3/25			
			前野 将輝	加藤 早妃	前田 祐作	三橋 五百子	図面名称	縮 尺		図面番号	
							<div><div>改修後</div><div>給排水設備 1階平面図</div></div>	A1:1/50 A3:1/100		M-06	



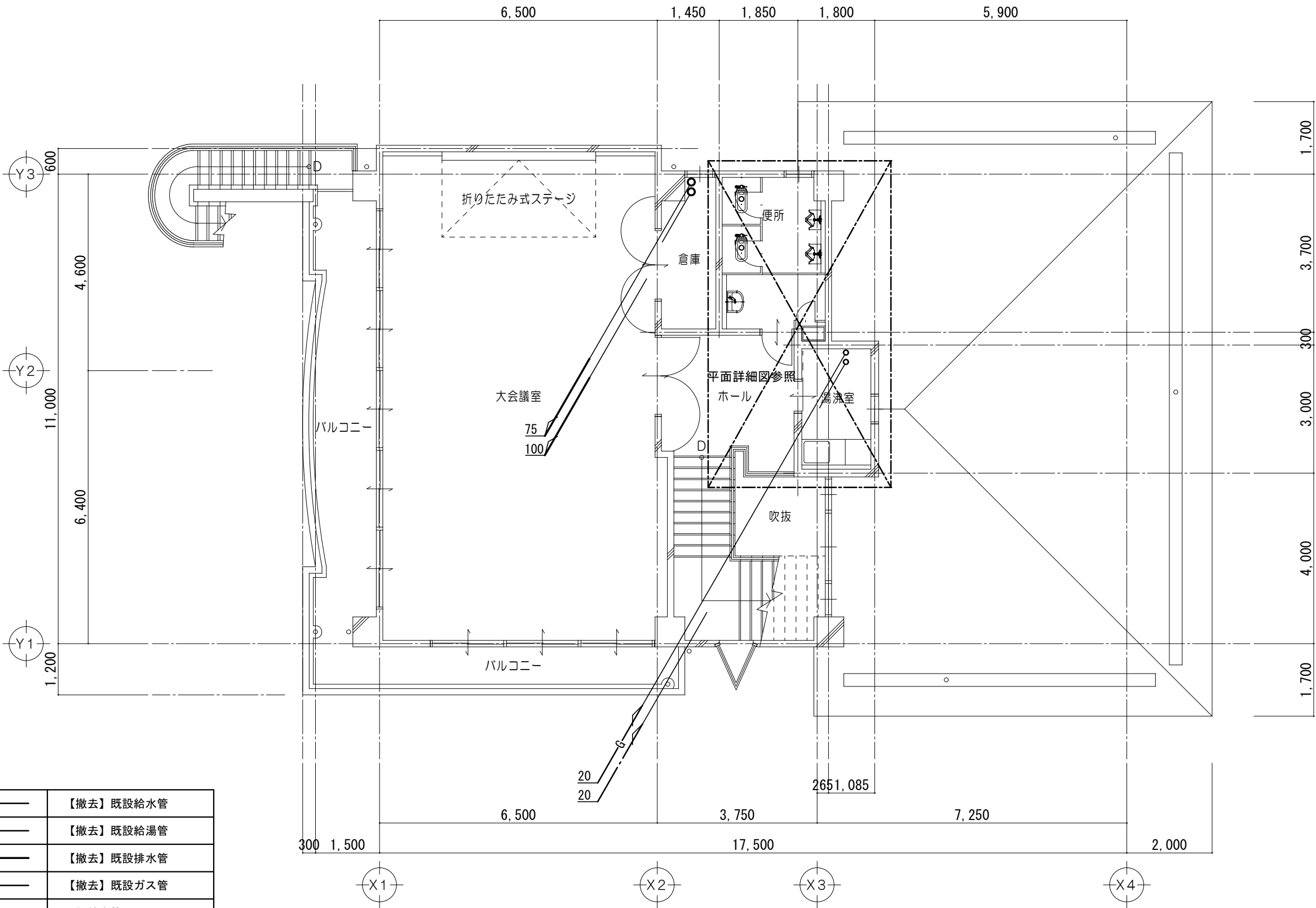
凡例	
	【撤去】既設給水管
	【撤去】既設給湯管
	【撤去】既設排水管
	【撤去】既設ガス管
	既設給水管
	既設給湯管
	既設排水管
	既設ガス管
	【撤去】既設排水樹





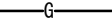





1 階 平 面 図 1/100



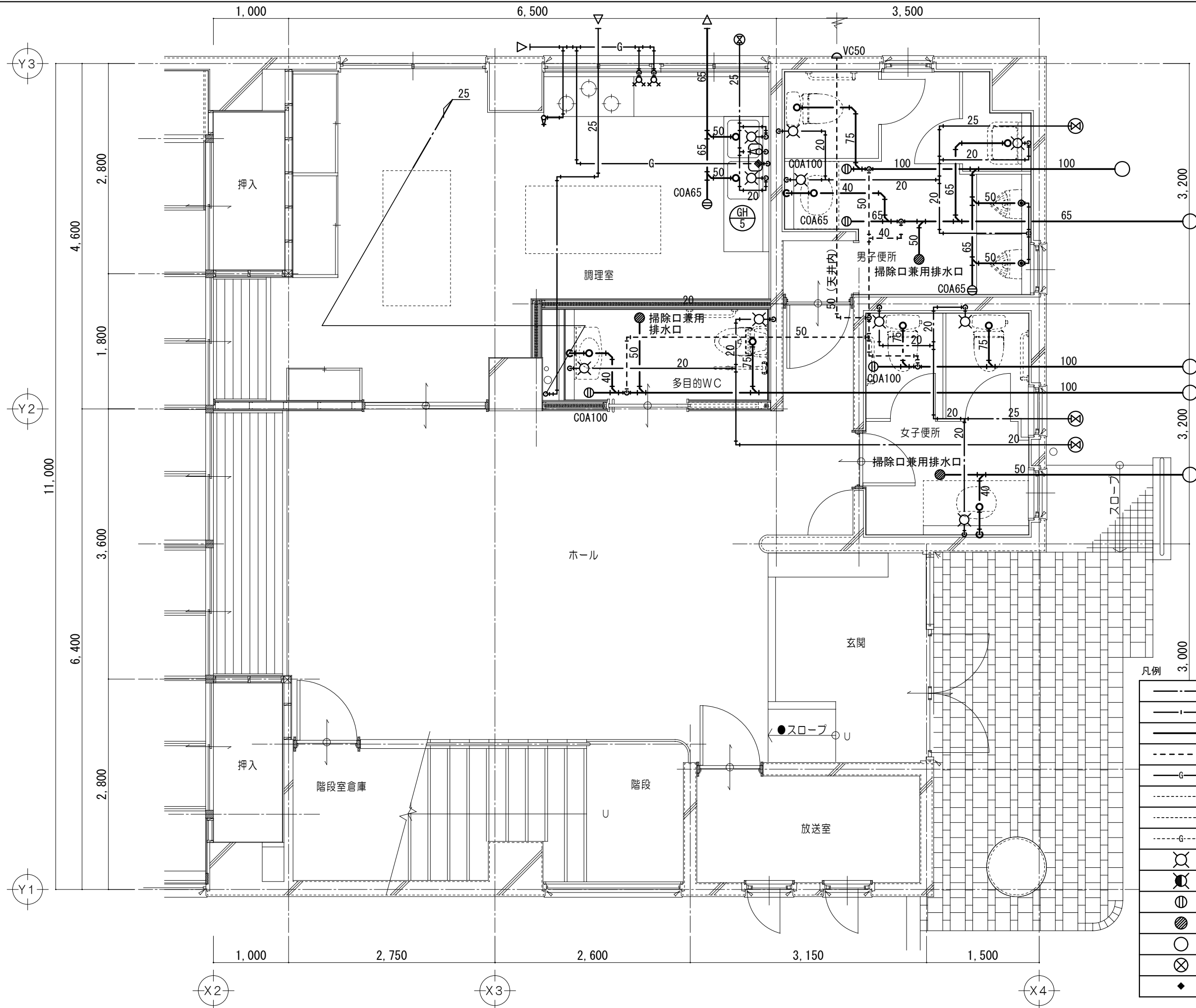
凡例	
	【新設】給水管
	【新設】給湯管
	【新設】排水管
	【新設】通気管
	【新設】ガス管
	既設給水管
	既設排水管
	既設ガス管
	【新設】単水栓
	【新設】混合水栓
	【新設】床上掃除口
	【新設】床排水金物
	【新設】汚水樹（塩ビ樹）
	【新設】雨水樹（塩ビ樹）
	既設接続

2 階 平 面 図 1/100



	【撤去】既設給水管
	【撤去】既設給湯管
	【撤去】既設排水管
	【撤去】既設ガス管
	既設給水管
	既設給湯管
	既設排水管
	既設ガス管
 	【撤去】既設排水弁

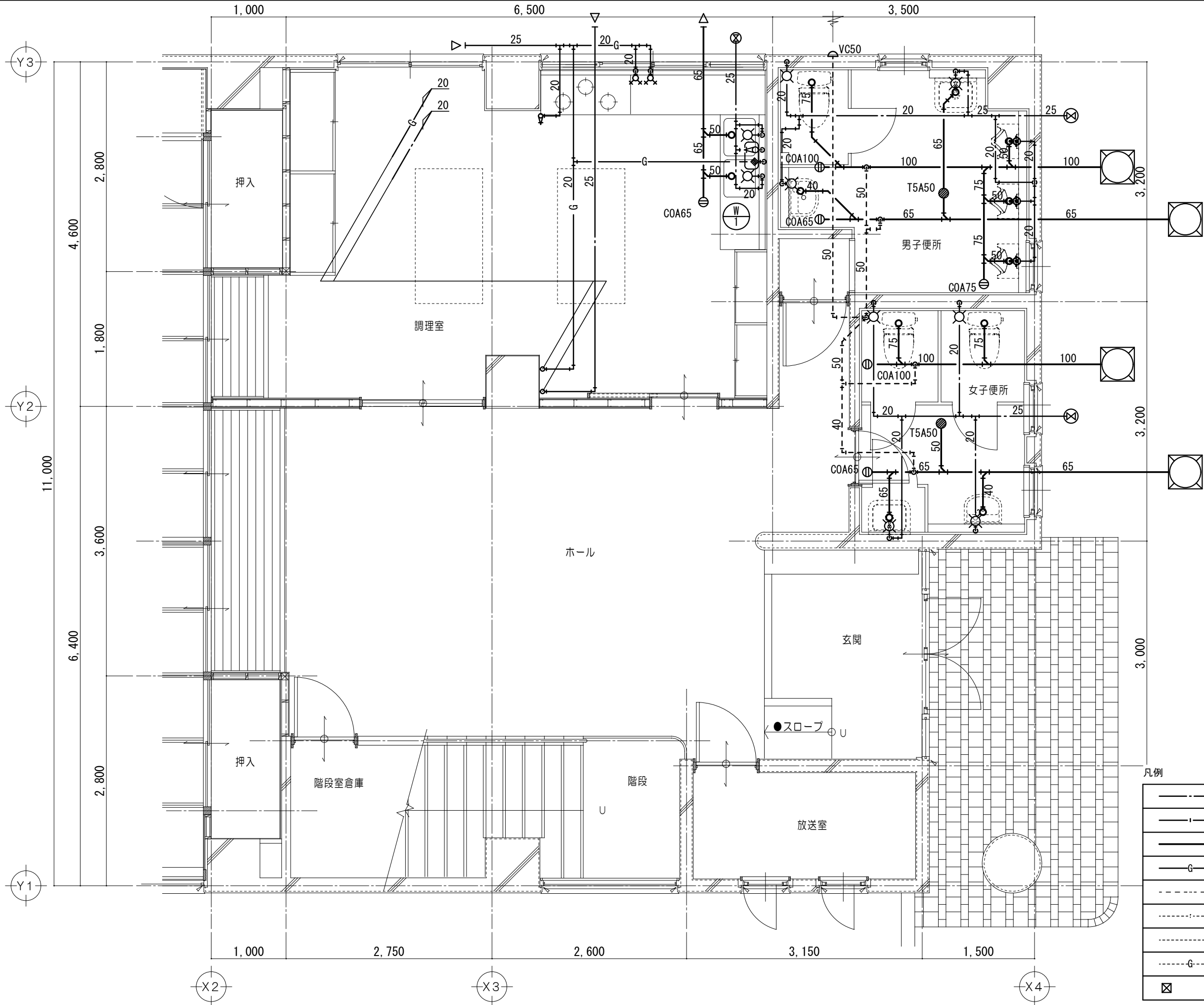
2 階 平 面 図 1/100


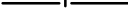










凡例

	【新設】給水管
	【新設】給湯管
	【新設】排水管
	【新設】通気管
	【新設】ガス管
	既設給水管
	既設排水管
	既設ガス管
	【新設】単水栓
	【新設】混合水栓
	【新設】床上掃除口
	【新設】床排水金物
	【新設】汚水樹（塩ビ樹）
	【新設】雨水樹（塩ビ樹）
	既設接続

改修前



凡例	
	【撤去】既設給水管
	【撤去】既設給湯管
	【撤去】既設排水管
	【撤去】既設ガス管
	既設給水管
	既設給湯管
	既設排水管
	既設ガス管
 	【撤去】既設排水柵

特記事項

Category	Value
4.1	4.1

一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号

株式

前野建築設計

管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将典

代表設計者
一級建築士
第320204号
前野 将輝

設計担当
一級建築士
第378328号
加藤 早妃

設計担当
一級建築士
第360917号
前田 祐作

設計担当
一級建築士
第307846号
三橋 五百三

設計担当

法適合確

作

455

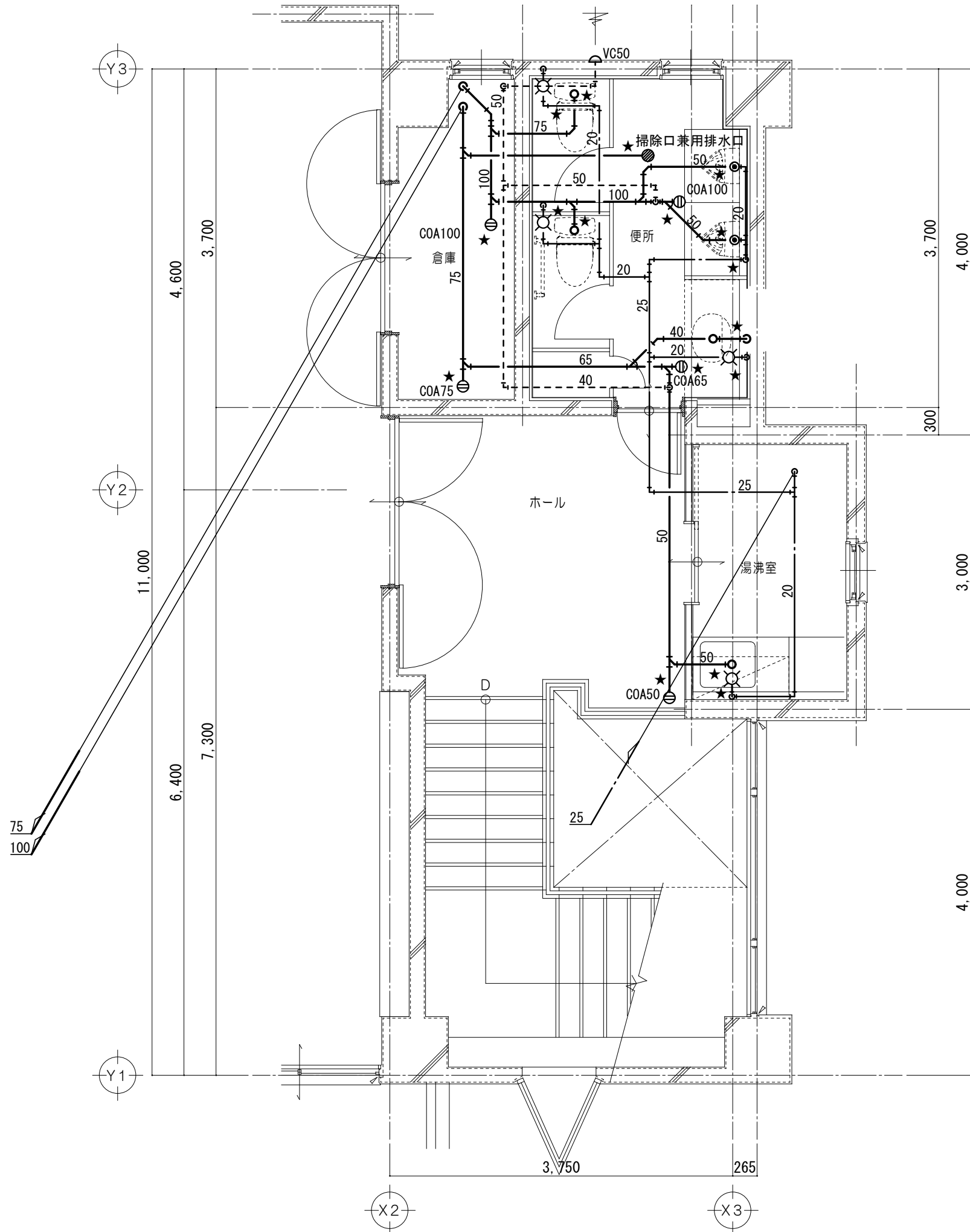
工事名称

改修前 給排水設備 1階平面

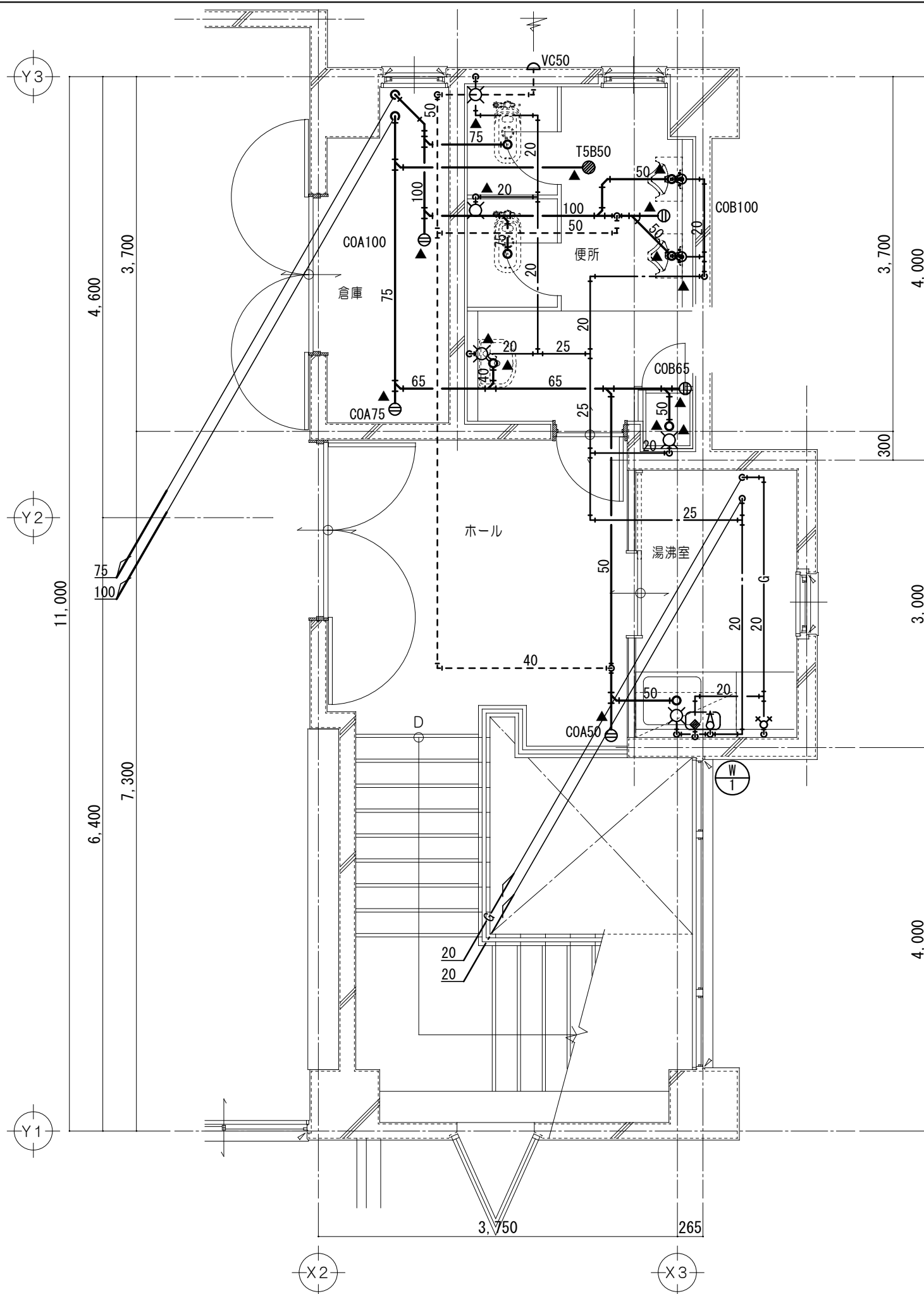
設計日
R6/3/25

縮尺
A1:1/25
A2:1/50

図面番号
M-11



凡例	
	【新設】給水管
	【新設】給湯管
	【新設】排水管
	【新設】通気管
	【新設】ガス管
	既設給水管
	既設排水管
	既設ガス管
	【新設】単水栓
	【新設】混合水栓
	【新設】床上掃除口
	【新設】床排水金物
	【新設】汚水樹
	【新設】雨水樹
	既設接続
	コア穴あけ



凡例	
	【撤去】既設給水管
	【撤去】既設給湯管
	【撤去】既設排水管
	【撤去】既設ガス管
	既設給水管
	既設給湯管
	既設排水管
	既設ガス管
	【撤去】既設排水桝
	配管周り手はつり

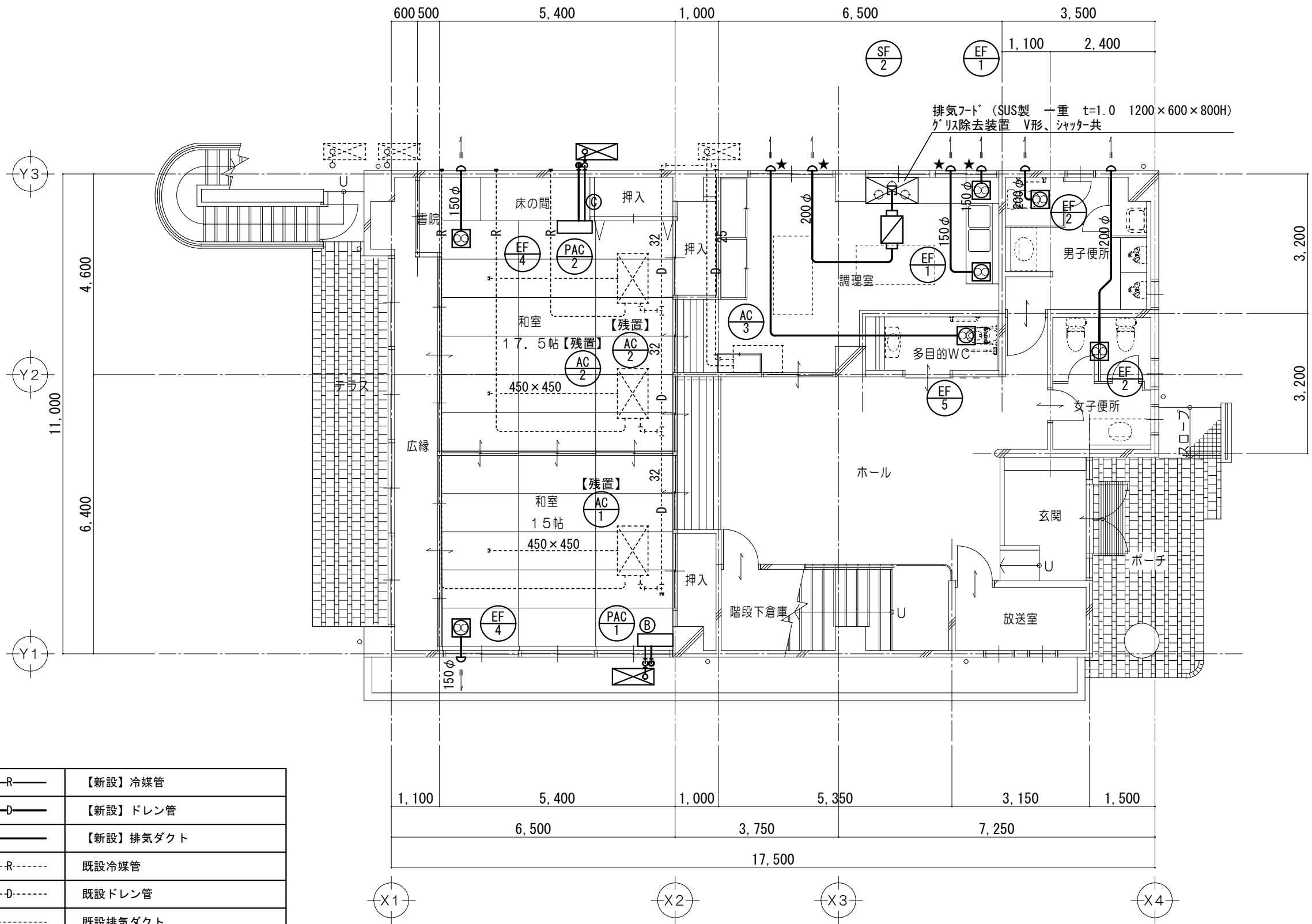
【新設】空調機器表					
記号	機 器 名	仕 様	定格消費電力	台数	備 考
PAC-1	パッケージエアコン	型 式 : 壁掛形	3φ-200V	1	1階 和室 15帖
		冷 房 能 力 : 5.0	kW (冷) 1.55kW		ワイヤレスリモコン
		暖 房 能 力 : 5.6	kW (暖) 1.51kW		転倒防止金具
		圧 縮 機 : 0.95	kW		コンクリート製据付架台
		室 内 フ ァ ン : 0.04	kW		
		室 外 フ ァ ン : 0.05	kW		
		液 管／ガ ス 管 6.35/12.7	φ		
PAC-2	パッケージエアコン	型 式 : 壁掛形	3φ-200V	1	1階 和室 17.5帖
		冷 房 能 力 : 7.1	kW (冷) 2.01kW		ワイヤレスリモコン
		暖 房 能 力 : 8.0	kW (暖) 2.30kW		転倒防止金具
		圧 縮 機 : 1.45	kW		コンクリート製据付架台
		室 内 フ ァ ン : 0.04	kW		
		室 外 フ ァ ン : 0.05	kW		
		液 管／ガ ス 管 9.52/15.88	φ		
共通事項					
1. 冷暖房能力はJIS条件による。 2. 定格冷暖房能力以外の数値は、参考とする。 3. グリーン購入法適合品とする。 4. メーカー標準仕様とする。 5. 屋外機基礎—屋外機用コンクリートベースH=100 6. 屋外機は転倒防止対策を施す					

【新設】換気機器表						
記 号	機 器 名	機 器 仕 様	電 気 容 量		個数	設 置 場 所
EF-1	天井埋込形換気扇 (低騒音形)	能 力 : 150φ×400CMH×120Pa	1Φ100V	88.0 W	2	1階 調理室×2
		付属品 : SUS製深型フード(ｶﾞﾗｯﾄﾞ付)、他一式				
EF-2	天井埋込形換気扇 (低騒音形)	能 力 : 150φ×400CMH×140Pa	1Φ100V	82.0 W	3	1階 男子便所、女子便所
		付属品 : SUS製深型フード(ｶﾞﾗｯﾄﾞ付)、他一式				2階 便所
EF-3	天井埋込形換気扇 (低騒音形)	能 力 : 150φ×440CMH×200Pa	1Φ100V	88.0 W	1	2階 湯沸室
		付属品 : SUS製深型フード(ｶﾞﾗｯﾄﾞ付)、他一式				
EF-4	天井埋込形換気扇 (低騒音形)	能 力 : 150φ×270CMH×60Pa	1Φ100V	36.0 W	2	1階 和室 15帖
		付属品 : SUS製深型フード(ｶﾞﾗｯﾄﾞ付)、他一式				1階 和室 17.5帖
EF-5	天井埋込形換気扇 (低騒音形)	能 力 : 100φ×100CMH×40Pa	1Φ100V	15.5 W	1	1階 多目的WC
		付属品 : SUS製深型フード(ｶﾞﾗｯﾄﾞ付)、他一式				
SF-1	ストリートロコファン (天井埋込形)	能 力 : 200φ×1,200CMH×160Pa	3Φ200V	230 W	1	2階 大会議室系統
		付属品 : 防振吊金具、他一式				
SF-2	ストリートロコファン (厨房用)	能 力 : 200φ×1,050CMH×200Pa	3Φ200V	300 W	1	1階 調理室
		付属品 : 防振吊金具、他一式				

既設空調機器表						
記 号	機 器 名	仕 様	台数	電 気 容 量	設 置 場 所	備 考
AC-1	パッケージエアコン	型 式 : 天井ビルトイン形	1	3φ200V	1階 和室 15帖	SHYB63DA (ダイキン工業製)
		冷 房 能 力 : 6,300 kcal/h		冷房 : 2.95kW		室外機【撤去】 (ﾌﾞﾗｯｸﾄﾞﾗｲﾌﾞ台共)
		暖 房 能 力 : 6,800 kcal/h		暖房 : 2.83kW		室内機パネル【撤去】
AC-2	パッケージエアコン	型 式 : 天井ビルトイン形	2	3φ200V	1階 和室 17.5帖×2	SHYB45DAT (ダイキン工業製)
		冷 房 能 力 : 4,500 kcal/h		冷房 : 2.04kW		室外機【撤去】 (ﾌﾞﾗｯｸﾄﾞﾗｲﾌﾞ台共)
		暖 房 能 力 : 5,000 kcal/h		暖房 : 1.98kW		室内機パネル【撤去】
AC-3	パッケージエアコン	型 式 : 天吊形	1	3φ200V	1階 調理室	SZRH80BCT (ダイキン工業製)
		冷 房 能 力 : 7.1 kW		冷房 : 2.10kW		
		暖 房 能 力 : 8.0 kW		暖房 : 2.25kW		
AC-4	パッケージエアコン	型 式 : 床置形	2	3φ200V	2階 大会議室×2	SZRV112BC (ダイキン工業製)
		冷 房 能 力 : 10.0 kW		冷房 : 2.70kW		
		暖 房 能 力 : 11.2 kW		暖房 : 3.05kW		
注記	1. 撤去機器は冷媒回収、破壊処理を含む。					

既設換気機器表					
記 号	機 器 名	仕 様	台数	設置場所	備 考
【撤去】 F-1	換気扇	30cm×1,050CMH	2	1階 調理室場×2	
【撤去】 F-2	天井埋込換気扇	200φ×400CMH	3	1階 男子便所、女子便所	
				2階 便所	
【撤去】 F-3	天井埋込換気扇	200φ×440CMH	1	2階 湯沸室	
【撤去】 F-4	天井埋込換気扇	150φ×270CMH	2	1階 和室 17.5帖、和室 15帖	
【撤去】 F-5	ストリートシロココファン	#2×1,200CMH	1	2階 大会議室系統	
		3φ200V 200W			

特 記 事 項						一級建築士事務所 三重県知事登録 第1-699号		代表設計者	設計担当	設計担当	設計担当	設計担当	<div>法適合確認</div>	<div>作図</div> <div></div>	工事名称		設計日
						株式会社 前野建築設計		一級建築士 第320204号 前野 将輝	一級建築士 第378328号 加藤 早妃	一級建築士 第360917号 前田 祐作	一級建築士 第307846号 三橋 五百子	北福崎公民館長寿命化改修工事			R6/3/25		
						管理建築士 一級建築士 第320204号 前野 将輝						図面名称			縮 尺	図面番号	
												改修前			空調・換気機器表	A1:N.S A3:N.S	M-14

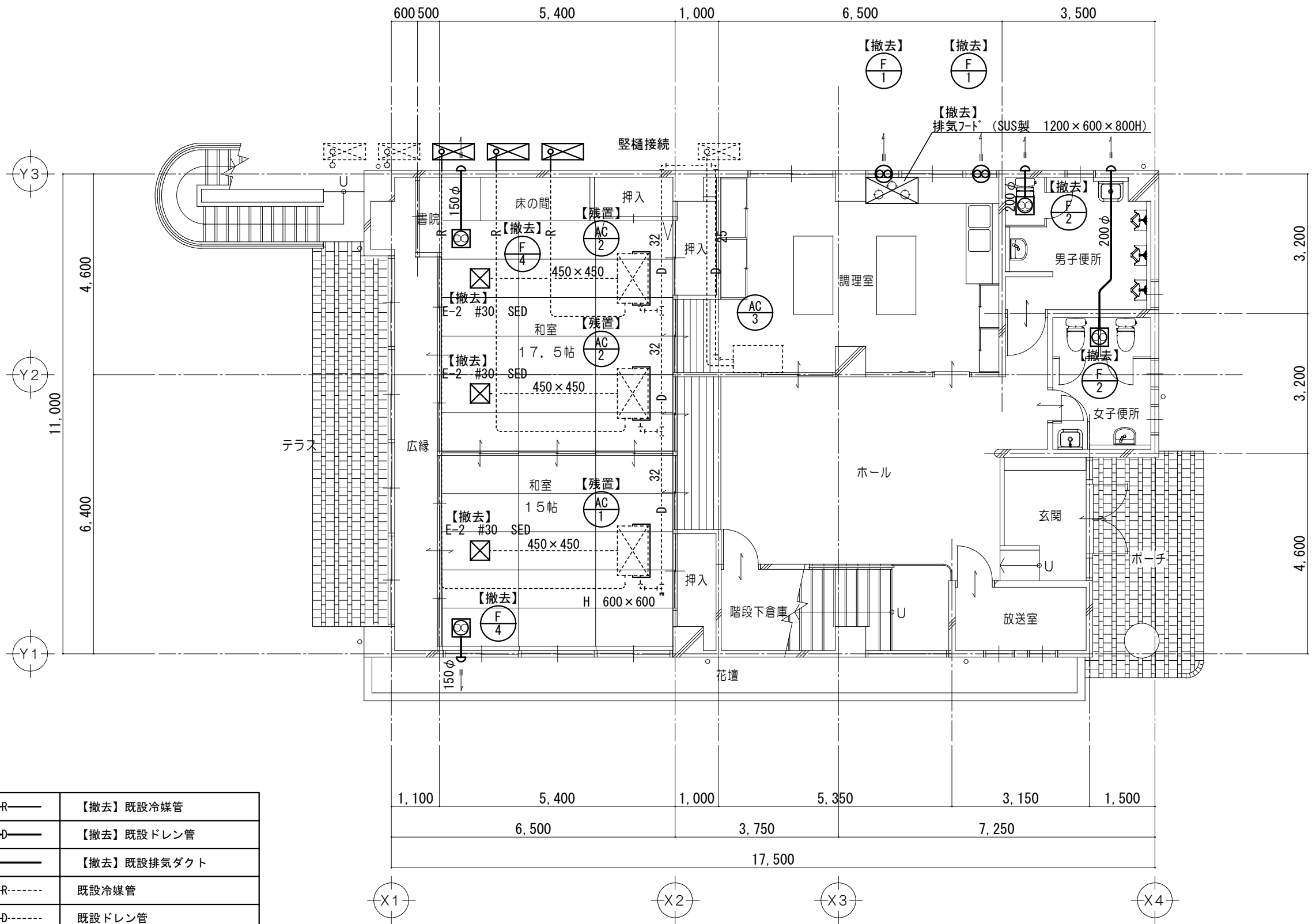


凡例

	【新設】冷媒管
	【新設】ドレン管
	【新設】排気ダクト
	既設冷媒管
	既設ドレン管
	既設排気ダクト
	【新設】空調リモコン（機器付属品）
	【新設】軒天用ベンドキャップ
	【新設】壁付用ベンドキャップ
	既設接続

記号	液管φ	ガス管φ	連絡配線
Ⓐ	6.35	9.52	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓑ	6.35	12.7	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓒ	9.52	15.88	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓓ	9.52	25.4	EM-CEES2.0mm ² -3C

1 階 平 面 図 1/100

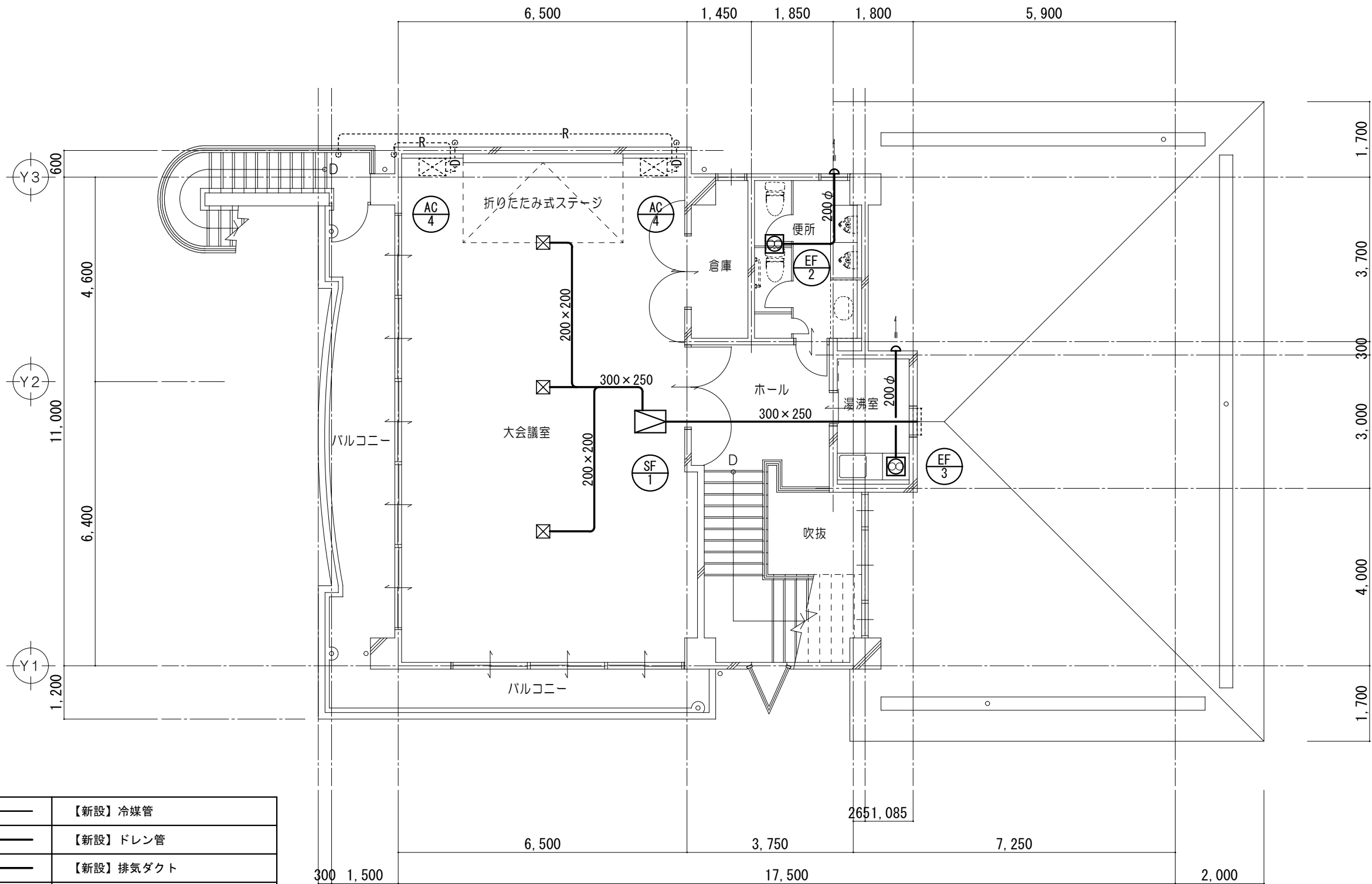


凡例

	【撤去】既設冷媒管
	【撤去】既設ドレン管
	【撤去】既設排気ダクト
	既設冷媒管
	既設ドレン管
	既設排気ダクト
	【撤去】既設空調リモコン
	【撤去】軒天用ベンドキャップ
	【撤去】壁付用ベンドキャップ

記号	液管φ	ガス管φ	連絡配線
Ⓐ	6.35	9.52	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓑ	6.35	12.7	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓒ	9.52	15.88	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓓ	9.52	25.4	EM-CEES2.0mm ² -3C

1 階 平 面 図 1/100



凡例

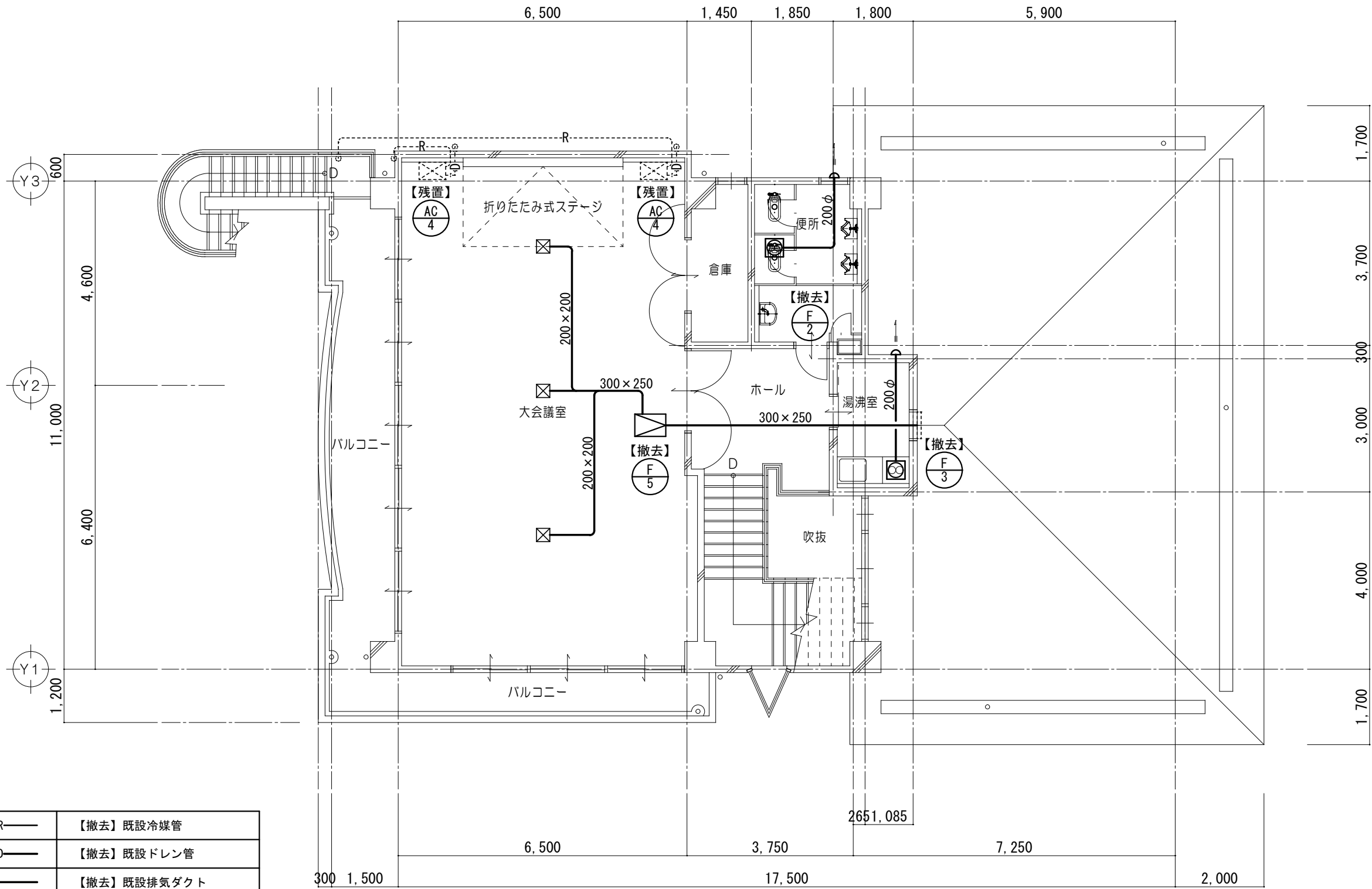
	【新設】冷媒管
	【新設】ドレン管
	【新設】排気ダクト
	既設冷媒管
	既設ドレン管
	既設排気ダクト
	【新設】空調リモコン（機器付属品）
	【新設】軒天用ベンドキャップ
	【新設】壁付用ベンドキャップ
	既設接続

記号	液管φ	ガス管φ	連絡配線
Ⓐ	6.35	9.52	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓑ	6.35	12.7	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓒ	9.52	15.88	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓓ	9.52	25.4	EM-CEES2.0mm ² -3C

2 階 平 面 図 1/100

部屋名	大会議室
種別	F-5
種類	HS 300×300
風量	300 CMH
BOX	500×500×400H
	断熱付

× 3



凡例

	【撤去】既設冷媒管
	【撤去】既設ドレン管
	【撤去】既設排気ダクト
	既設冷媒管
	既設ドレン管
	既設排気ダクト
	【撤去】既設空調リモコン
	【撤去】軒天用ベンドキャップ
	【撤去】壁付用ベンドキャップ

記号	液管φ	ガス管φ	連絡配線
Ⓐ	6.3 5	9.5 2	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓑ	6.3 5	12.7	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓒ	9.5 2	15.8 8	EM-CEES2.0mm ² -3C
Ⓓ	9.5 2	25.4	EM-CEES2.0mm ² -3C

2 階 平 面 図 1/100

【撤去】	
部屋名	大会議室
種別	F-5
種類	HS 300×300
風量	300 CMH
BOX	500×500×400H
	断熱付

× 3